

テーマ

「地域との絆を深めよう。」

目標

心と体を育てる食育の大切さを伝える。

今年度の取組紹介

◎ 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2014

- ・ フェスタ参加者にふるまうおにぎりと豚汁
- ・ 模擬店（鉄火味噌、みたらし団子、わたがし、野菜等）



豚汁の炊き出し

◎ 地域の田畑を利用した栽培活動、

- ・ 土壌、畑、野菜の管理
- ・ 夏野菜、さつまいも、紫いも、冬野菜の植え付け支援
- ・ 収穫祭
- ・ 田植え体験活動（しろかき、苗とり、田植え）



田植え体験活動の支援

◎ 環境美化作業CG大作戦（夏冬2回）

- ・ 花の苗植え付け
- ・ 校内草刈り
- ・ 地域内ゴミ拾い

今年度のまとめ

- ◎ ふれあいフェスタの活動を通して学校・園と地域が連携でき、自ら挨拶してくれる子どもが増えました。
- ◎ 新たなコーディネーターの増員など組織の充実が見られました。
- ◎ 栽培活動を通して子どもたちと触れ合うことができました。

来年度に向けて

- ◎ 食と農の活動を通して学校・園を支援します。
- ◎ PTAとの連携を深め学校・家庭・地域が三位一体の活動となるようにします。
- ◎ 地域の協力体制を強化します。
- ◎ 地域教育協議会の活動内容を多くの方に知っていただけるように広報活動を充実させます。

テーマ

「地域との絆を深めよう。」～平城の地でいのちを育もう～

目標

生徒たちがのびのび楽しく学び、可能性を最大限伸ばせる学校を目指す。

今年度の取組紹介

◎ 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2014

- ・ 地域の田畑を利用した栽培活動、パープルスイーツづくりと販売、
- ・ フェスタ参加者にふるまうおにぎりと豚汁の手伝い（PTA、地域の方とともに）
- ・ 学習発表、展示発表、舞台発表、未就園児、幼稚園児、小学生のためのあそびコーナーの企画運営
- ・ 模擬店の手伝い

◎ 環境美化作業CG大作戦（夏冬2回）

- ・ 花の苗植え付け
- ・ 校内草刈り
- ・ 校区内ゴミ拾い



豚汁のお手伝い



草刈り

今年度のまとめ

- ◎ コーディネーターを中心に地域内の各種団体が連携できました。
- ◎ 「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2014」は2300人を超える参加がありました。少しずつですがボランティアの数も増えてきています。
- ◎ 耕地、栽培、収穫、調理、製品化、販売という過程を通して子どもたちに自然や人を愛する豊かな感性を育むとともに、責任感や規範意識を養うことを目指して取組成果が見られました。
- ◎ 地域、家庭、学校が連携した諸活動を通じて、地域に対する愛着を持たせることができました。

来年度に向けて

- ◎ 全国生活実態調査で「自分が住んでいる地域への愛着や誇りをもっている。」と回答した生徒の割合が低いことを踏まえ、来年度も本取組を継続していきます。
- ◎ コーディネーターの負担が軽減できるよう地域全体の協力体制を確立します。
- ◎ 一層、広報活動を充実させます。
- ◎ PTAとの連携を強化します。

テーマ

「地域との絆を深めよう。」

～地域とのふれあい活動を通して、

平城から学び、平城で学ぶ ころろ・からだ・くらしづくり～

目標

地域・家庭・学校が協力し、様々な体験活動を通して、豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養い、読書力やコミュニケーション力を伸ばしていく。

今年度の取組紹介

◆米作り体験学習

5年生が地域の方に田圃を借りて米作りを体験させていただきました。今年で5年目になります。田植えから稲刈りまで地域の方々が応援していただいています。収穫祭にはお世話になった方々を招いて、おにぎりをつくって感謝の会を実施しました。



◆11月20日 平城“食と農”ふれあいフェスタ2014

県営競輪場を会場に幼、小、中、地域の2,300人以上が参加し地域の連携の広がりを感じることでできたフェスタは、今年で3回目を迎え、中学校や地域のバザー・炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、保護者の人形劇、そして、学習発表・学習展示と充実した時間になりました。

地域・家庭・学校が三位一体となり、地域の絆をより深めることができました。



◆読書活動の推進

毎週（水）曜日には、ボランティアさんによる読み聞かせを行っていただき、（水）（木）の読書タイムと相まって、子どもたちの読書活動の充実を図ることができました。

今年度のまとめ

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また地域の方々とのコミュニケーションを図ることができました。また、裁縫、みそ造り、昔遊び、クラブ活動等、様々な活動において地域の方々の協力を得ることができました。読書活動においても、子どもたちに浸透し、進んで読書を楽しみ、そのことで落ち着いた学校生活を送ることができてきました。

来年度に向けて

各学年の発達段階を考えた体験学習を整理し、児童の成長により効果的な栽培体験学習を年度初めにしっかり計画し、地域の協力を得て実行していきます。

また、来年度もテーマを「食と農」を中心にした「地域の絆を深めよう」と設定し、地域や校種間での交流もさらに深め、このテーマを達成していきたいと思っております。

テーマ

地域との絆を深めよう

目標

保護者・地域の人々の教育力を生かし、様々な体験や栽培活動を行なうことで、地域の方に親しみを感じ、育てる楽しさや収穫の喜びを味わう。

地域で沢山の人に見守られながら生活しているという思いを感じられるようになる。

今年度の取組紹介

○ 地域の方々の知識を生かした栽培活動

(1) 地域の方と一緒にサツマイモの栽培とお米づくり

5歳児と保護者が一緒に、地域の方々に指導をしていただきながら、サツマイモのツルさしや田植えを行いました。保護者も参加し、家庭では出来ない経験をする事ができ、親子で楽しい時間を過ごすことができました。収穫の時には、地域の方と共に収穫の喜びを味わいました。収穫祭では、地域の方を招き、感謝の気持ちを伝えることができました。



(2) 平城“食と農”ふれあいフェスタ2014

平城“食と農”ふれあいフェスタ2014に園児は親子で参加し、当日沢山の地域の方々がかかわってくださっていることに驚き、自分達は、こんなに沢山の地域の方々に支えられていることに気づく機会となりました。



今年度のまとめ

- 栽培活動を通して、食への関心が高まり、家庭では出来ない経験ができてとても良かったという保護者からの意見が聞かれました。
- 様々な活動で、地域の方々とかかわることで自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えたりする姿が多く見られました。
- 平城“食と農”ふれあいフェスタ2014に参加して、平城の地域の方々が多く関わってくださっていることを知り、地域の中で沢山の地域の方々が見守ってくださっていることに気づくことができました。

来年度に向けて

- 様々な活動を通して、子どもたちに地域の方々への親しみや感謝の気持ちが育ってきています。今後も地域の方々との連携を密にし、様々な活動の支援に生かしていきたいと考えます。